

田辺周辺広域市町村圏組合一般廃棄物処理施設 第4回用地選定検討委員会
会議録（概要版）

【日時】 令和7年3月31日（月） 14時00分～15時30分

【場所】 紀南広域廃棄物最終処分場 管理棟 2階大会議室

【出席者】

（委員）

学識経験者 吉田登、櫻井祥之、八鍬浩、土永知子

住民代表 野村悠一郎、田中晴好、來栖末美、瀧本美奈

（オブザーバー）

構成市町廃棄物担当課長 井澗伴好、前田善伸、榎本崇広、三浦誠、南典和

（事務局）

田辺周辺広域市町村圏組合 清水局長、古久保主任、孫本主査

（技術支援業務受託者）

パシフィックコンサルタンツ株式会社 4人

【欠席者】

住民代表 田中利典

【内容】

1. 開会
2. 委員会スケジュールについて
3. 1次選定結果について
4. 2次選定の評価項目について
5. 第5回委員会の開催方法について
6. 閉会

1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶を行った。
- ・吉田委員長より挨拶。

2. 委員会スケジュールについて

- 事務局 委員会回数について、パブリックコメント結果を踏まえた選定方法について委員会で審議するため、回数を1回追加し、全8回としている。
- 委員長 スケジュールの変更について異議はないか。
- 委員一同 異議なし。

3. 1次選定結果について

- 事務局 1次選定結果について説明した。
- 委員 和歌山県レッドデータブックにおいて、「生物多様性保全上注目すべき地域」が選定されている。1次選定結果において重複している箇所もあるが、本項目についても用地選定において考慮する必要があると考える。
- 事務局 生物多様性保全上注目すべき地域について、評価方法を検討し、委員会で提示する。
- 委員長 「生物多様性保全上注目すべき地域」は地図上で示すことは可能か。
- 委員 地図上で示すことは困難であるが、用地選定において考慮は必要と考える。
- 事務局 レッドデータブックや生物多様性については考慮が必要と考えているが、1次選定及び2次選定において具体的な除外対象地域として示すことは困難と考えている。1次選定及び2次選定でおおよその絞込みができた後に、3次選定において検討をする中で、レッドデータブックや生物多様性について評価したいと考えており、委員会で審議していただきたい。
- 委員長 レッドデータブックや生物多様性の基準を3次選定の項目に入れるということに異議はないか。
- 委員一同 異議なし。
- 委員長 1次選定結果について、除外対象地域が多い印象を受けるが、事務局としてはどうか。
- 事務局 圏域全体で見ると山林区域はまだ残存地域があり、1次選定結果としては特に問題ないと考えている。

4. 2次選定の評価項目について

- 事務局 「⑩道路・鉄道」のうち道路について、圏域内の道路全てを抽出すると対象道路が多く煩雑になる。そのため、和歌山県道路網図（和歌山県）のうち、「高規格幹線道路、一般国道（国土交通省管理及び和歌山県管理）、主要地方道、一般県道、農林道」を対象とする。
- また、「⑥景観計画区域」について、景観計画区域は構成5市町全域が指定されてお

り、評価項目にすると圏域全体が除外されることになる。そのため、「特定景観形成地域」を対象とする。

委員長 景観計画区域と特定景観形成地域の違いについて教えてもらいたい。また、景観計画区域が全域に指定されることは、他の市町村でもなされているか。

事務局 景観計画区域と特定景観形成地域の違いについては、建設時の届出において、特定景観形成地域はより広範な建物が届出の対象になる。

ワグザンバー 構成5市町においては、熊野参詣道等の景観保持のため、景観計画区域や特定景観形成地域を指定されていると考える。

委員長 「⑩道路・鉄道」及び「⑥景観計画区域」の変更について異議はないか。

委員一同 異議なし。

ワグザンバー 「②土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域」について、詳細には土石流、急傾斜地、地すべりに区分される。そのうち、急傾斜地については、対策工事をする事で、安全性の確保は可能と考えている。そのため、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域のうち急傾斜地については、2次選定において除外するのではなく、3次選定において評価してはどうかと考えている。

委員長 「①地すべり防止区域・急傾斜地崩壊区域・砂防指定地」と、「②土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域」の違いは何か。

事務局 根拠となる法律が異なり、①の方がより厳しい規制・対策を課せられている。

副委員長 既存焼却施設内での建替え事業の検討において、敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されていることから、対策を検討した事例があったと思う。対策を検討するのであれば、提案どおり3次選定で評価しても良いのではないかと思う。

委員 対策工事をする事で急傾斜地が改善されるのであればよいと考える。なお、施設までの道路を含めて、警戒区域の指定範囲を確認しておくほうがよい。

委員長 田辺市の提案について、異議はあるか。

委員一同 異議なし。

5. 第5回委員会の開催方法について

事務局 令和7年6月中旬に開催予定である。議題は2次選定の結果、3次選定以降の考え方、パブリックコメントにおける公表内容を審議いただく。2次選定結果は公表しても用地選定において支障はないと考え、第5回委員会は公開としたい。

委員長 第5回委員会は公開とすることに異議はないか。

委員一同 異議なし。

6. 閉会

以上